

株式会社モンテール

Windows Server 2003 リプレースを機に、ファイルサーバを Synology RS814RP+ に統合

シュークリームやロールケーキなどのスイーツを製造販売する、今年で創業 60 周年の洋菓子メーカー。自社で作る低温殺菌牛乳や新鮮な卵を使って銅釜で炊き上げる自家製カスタードなど、素材や製法にこだわった商品づくりを展開。おいしさへの追求はもちろん、添加物を極力削減する等の安全・安心面、さらに食シーンの提案などスイーツの楽しみ方も追求し、おなかだけでなく心も満たすスイーツづくりを目指している。



機能を考えればコストパフォーマンスが良いので、Synology を選んだ

「Synology を選んだ理由は、コストパフォーマンスに優れていたからです。」株式会社モンテール 総務部情報システム課係長奥谷氏は、その理由を簡潔に話してくれた。

「勿論、法人モデルでありエンタープライズで使用する事を前提とした NAS として高性能であるのに価格が抑えられている事が製品決定の要因のひとつになったと言う事です。NAS と一口に言っても様々なモデルがあり、部門内では独立したコンシューマモデルの NAS を使っていたりしますが、全社で使用しているファイルサーバとしては民生品を使用するのは不安があり、きちんとしたエンタープライズ製品から選定を行ったのですが、Synology は予定していた 1 台の値段で 2 台買えたコストのインパクトがありました。」

全社使用のファイルサーバとしては、やはりそれなりの機器と機能を求める必要があったが、それだけの機器と機能を持っていないながらも安い Synology に出会えたのは、実はネットの検索からであったとか。総務部情報システム課大山氏が導入に至るまでの話を説明してくれた。

「3.11 震災の後に BCP 対策を考える必要性が出て来ました、当時はまだ総社事業所（岡山）が無かったので現実的には外部に委託せざるを得ない状況だったが、メインを本部機能のある八潮に置き、バックアップをどこに置くかという方向で検討をしていました。」



八潮事業所 併設直売店

クラウドサービスの利用検討から Synology 製品へ

「対象のファイルサーバは Windows Server 2003 であったため、容量不足とサーバの保守切れによりリプレースの必要性が出て来た中で、いっその事クラウドに持って行く事も検討しました。」

情報システム部門としては、やはりクラウドと言うのは真っ先に検討するべき課題だったようで、クラウドに移行するメリット・デメリットについて具体的なクラウドサービスを検討したと言います。

「最初にクラウドで 3 社ほど検討をしました。コストは申し分なかったが帯域には不安がありました。現在の株式会社モンテールは、主要拠点である（埼玉）八潮事業所、（茨城）つくば事業所、（岐阜）美濃加茂事業所、（岡山）総社事業所間は、10Mbps 保障の IP-VPN を使用して接続しており、クラウドサービスではインターネット VPN となり、帯域を保障してくれない為、業務系の複雑にリンクし



株式会社モンテール
総務部 情報システム課

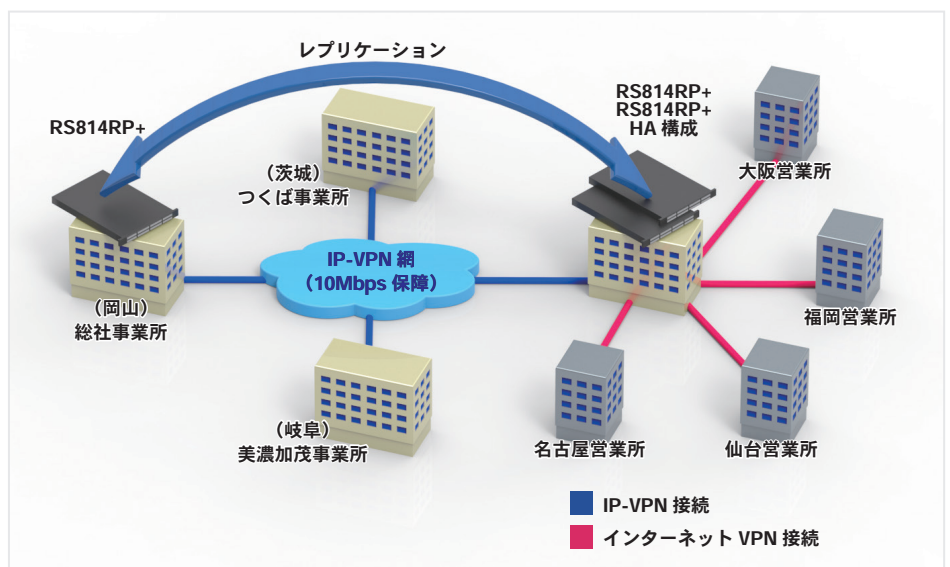
株式会社モンテール
総務部 情報システム課
係長

大山 英治氏

奥谷 淳史氏

たファイルでは開くのに時間が掛かると言った危険を感じました」

「ファイル間のリンクを減らして、ファイル置き場としてのファイルサーバを共有するよりも、システムを進めるべきかと思いましたが、ちょうどその頃に岡山に事務所が出来た事で、東と西で分けた拠点化による BCP 対策が出来るようになり、クラウドよりもオンプレミスでリプレースを行う事としました。」



モンテール

株式会社モンテール

1954年に創業。「おいしい・やさしい・たのしい」をキーワードに、「おやつ時間のワクワク」をお届けする洋菓子メーカーです。洋菓子の主原料となる牛乳と卵の産地に近い産地直結型工場と、地元の新鮮素材を使用。また、全国に3か所ある工場（茨城、岐阜、岡山）は、HACCPに対応し安全・安心を追求しています。主な販売先は、スーパーマーケットやコンビニ等となります。

■ URL : <http://www.monteur.co.jp>

■ 住所 : 東京都足立区島根 4 - 23 - 22



モンテール 総社工場（直売店併設）

ファイルサーバ Windows Server 2003 のリプレースから

「Windows Server 2003 をファイルサーバとして長く使用しており、そのリプレースとしてのファイルサーバなので、当初は Windows Storage Server ベースの NAS サーバを検討しました。」

Windows Server 2003 は、2015 年 7 月 15 日がサポート期限となっており情報システム部門としては、大きなリプレースが必要となる頭が痛い問題だ。株式会社モンテールでは、この Windows Server 2003 をファイルサーバとして動かしていた為、リプレースが必要となり Windows Server 2012 へと Active Directory を含めて大掛かりな移行作業を行っている。この移行時に BCP 対策機能も含めて NAS サーバの選定が行われたと言う訳だ。慣れ親しんだ Windows Server 機によるファイルサーバだったので、リプレースも当然 WSS (Windows Storage Server) から検討したが、

「Active Directory サーバのシステムバックアップ用ストレージとして購入した WSS の NAS サーバは、最初のセットアップ時にアップデートが掛かり何日もアップデートが実行されたままだったりして、直ぐ使いたい時に使えないと言う事があり、非常に印象が悪くなりました。」

「その頃にちょうどテストも兼ねて部門用として購入した Synology はセットアップが簡単で全く問題無く使い始める事が出来ましたし、画面の使い勝手なども良くてとても高評価でした。その為、他の NAS サーバを検討するまでも無くファイルサーバは Synology に決定しました。」

確かに、Windows ベースの方が、GUI 画面の使い勝手が簡単便利と言うイメージを持っておられる方は多いでしょう。しかし、Linux ベースである Synology に WSS に負けない使い勝手の良さありとは、ユーザーに教えて貰った気分です。

ファイルサーバ の移行は問題無く終了

「Windows Server 移行により、Active Directory はフォレスト・ドメイン名を同じまま更新しました。AD 更新は大変な作業となりましたが、ファイルサーバの方は事前に AD 連携の確認を行っていた事も有り特に問題無し。ファイルの移行作業は、全ファイルをコピーして持って行く事で実行しました。」

AD 更新作業と聞くと、それだけで大変な作業を想像してしまうが、ファイルサーバの方の移行は全く同じ UNC パスへと移行を行い、利用者には特に作業詳細を告知せずに定期メンテナンスで実行してしまっただけです。

「ファイルサーバの移行作業用として、FastCopy と言うフリーソフトを教えてくださいました。ACL を含めての高速コピー以外にも差分のみ書き上げる機能があったり、スロットル調整が出来たりするので、夜中に少しずつ負荷の影響を見ながらファイルを転送して、最後に最終差分を更新しました。現場からのクレームは全く無しでした。」

ファイルサーバの移行で頭が痛いのは、ファイルを同じ形で持って行く作業でしょう。AD 連携していると言っても、エクスプローラからドラック&ドロップしてのコピーでは ACL が抜けてしまうため、ACL 情報を保持してファイルをコピーしてくれる仕組みが必要になります。FastCopy はフリーウェアですが、NAS サーバ移行用に作られたのかと思うほどに、この様な用途に非常に良く出来ています。

「ファイルサーバは結果として容量が 100 倍近くになりました。このコストでこれだけの容量を使える事が出来るのは非常に良い結果となりました。一部業務システムが書き出すパス名に日本語が含まれており、Windows Server の頃にタスクスケジュールからバッチ起動で削除していた処理が、Synology になりタスクからのシェル実行への移行で上手く行かない部分があった。Windows のバッチから Linux のシェルへの移行は少し敷居



八潮事業所 サーバルーム

が高いと感じた。」

この問題は、日本語を含むファイルパスを操作するシェルを、Synology のテキストエディタから Unicode (UTF-8) を指定して保存する事で、その後解決しました。

Cloud Station により東と西でファイル同期

「ファイルサーバを Synology として、八潮事業所と総社事業所間でファイルのレプリケーションの環境が Synology 提供機能 Cloud Station を使用して簡単に実現出来ました。また、八潮事業所側はやはり提供機能である SHA (Synology High Availability) を使用して 2 台の RS814RP+ を冗長構成として、より安全性を高めています。このような拡張機能が簡単に使えるのも Synology の良い所ですね。」

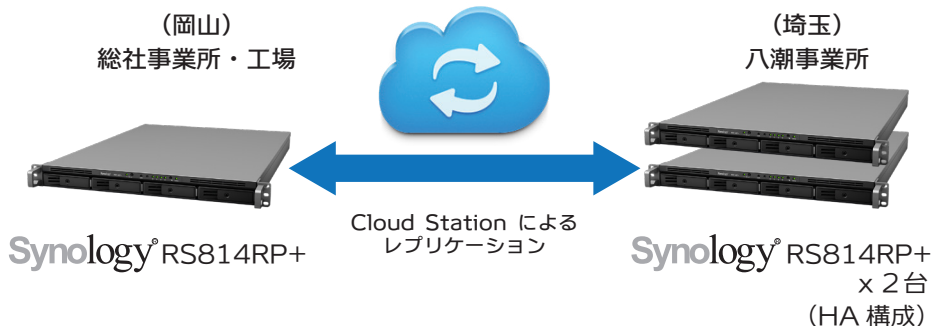
Synology についての感想を求めると、奥谷氏も大山氏も口を揃えて Synology のソフトウェアの充実を特に褒めて下さいました。確かに、かつての NAS サーバのイメージとしてはファイル共有の置き場であり、¥ (エンマーク) を 2 つ続けてからサーバ名を入れてエンターで、ファイル置き場へアクセスしてただけでした。情報システム部門の人にとっては、レプリケーションや HA 等の実装が内蔵されている事の簡単さが実感出来るのかもかもしれません。

Synology DiskStation Manager 機能を使い倒せ

「中央管理システム (CMS) も使用していますが、これから Synology が増えて行く事で便利に利用出来ると思っています。また、今後の外部業者との文書のやり取り等に QuickConnect を使用しようと考えています。外部ともファイルやドキュメントを一元管理出来るので、これからのシステム更新による業者との仕様書等の文章のやり取りや管理に期待しています。」

最終的な満足度を聞くと、大山氏は、

「Synology は価格の割には容量があつて良い、ファイル容量整理の警告などの管理が非常に楽になった。また管理画面が非常に分かり易い。ブラウザベースだが何がどこにあるのか直ぐに分かる。機能が多くてどこまで試せるか楽しみだ」と笑顔で答えてくれた。



本製品のお問い合わせ先



株式会社アスク

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-21 山脇ビル 11 階

TEL : 03-5215-5650、FAX : 03-5215-5651

■URL : <http://www.ask-corp.jp/>